

修了証書授与式～6年生（3月20日）

6年生「修了証書授与式」を実施しました。学年、保護者の皆様、教職員が一堂に会して、この節目の日を迎えられたことを大変うれしく感じています。

式では、修了証書の授与、そして、一人一人から短いお話がありました。今後の抱負、保護者への感謝などを、この6年間で自分が学んできたことを振り返り、それを生かそうとする視点で、堂々とお話をしてくれたことが印象的でした。



代表児童挨拶。
凛として堂々と、これまでの学びを振り返り、感謝を伝える姿が立派でした。

「希望」「不安」「名残り惜しさ」など、一人一人がきっと様々な思いを抱えています。今後の進路も様々です。

そのような仲間の思いや立場を尊重し合い、門出を喜び合う気持ちが、6年生の眼差しやふるまいから、表れていたように感じます。1年生の時、同じように1人1人がお話した時を思い返してみると、その成長に私たちも胸があつくなりました。



会場を後にし、少しほっとした表情の6年生のみなさん

1組担任も、2組担任も、「楽しかった」と子供たちに伝えていました。コロナ禍の影響を強く受けた6年生のみなさんが、上手くいかないことや思うに任せないことが数多くあっても、仲間に向き合い、時に傷つけることもありながらも、「みんなと自分」が楽しく過ごせる道を模索してきたからこそなのでしょう。見送り式のはじける笑顔から、それがよく伝わってきました。今後の進路においても、大人になっても大事に温めていってほしい学びです。



6年生のみなさん、修了おめでとうございます。